

税 労 第 62-114 号
令和 4 年 8 月 18 日

各地区本部執行委員長 殿
中 央 執 行 役 員

日本税関労働組合
中央執行委員長 倉 本 和 邦

第 62 期第 4 回四役会議議事録について（送付）

このことについて、議事録を作成したので、別紙 1 のとおり送付します。

第 62 期第 4 回四役会議議事録

1 開催日時 令和 4 年 8 月 13 日 (土) 午後 1 時から午後 5 時

2 開催場所 中央書記局 (WEB 併用)

3 出席者

[中央執行委員長]

倉本和邦

[副中央執行委員長]

堀田将恵、齋藤雅記、原川佳也

[中央書記局]

村岡和弥 (書記次長)

4 議題

(1) 第 63 回定期大会について

- ア 第 62 期活動経過報告
- イ 第 63 期運動方針 (案)
- ウ 大会各種決議 (案)
- エ 第 63 期予算 (案)
- オ 第 63 期具体的取組について (案)
- カ 定期大会進行要領の確認

(2) その他

5 議事内容

○中央執行委員長挨拶

- ・お盆前の忙しい時にお集まりいただきありがとうございます。来月開催する定期大会をスムーズにするため、あらかじめ四役で内容 (流れ) を整理しておいて、来週日曜日の中央執行委員会をスムーズに議事進行していきたいと思います。
- ・教宣紙も出しましたが、今回の人事院勧告で 3 年ぶりに本俸が 0.23% (921 円) 上がるというなか、若手 30 代半ばまでの間に反映されるということは、中高年世代まで改定に及んでいないというところがありましたので、そういったところは不満だということは、上部団体を通じて人事院の方には意見を申し述べています。若手の給料が安いということで、人を集めないといけない観点から初任給を上げないといけないということは分かりますが、物価高やウクライナ侵攻による原油高などは中高年も影響を受けていますので、組合員から不満が出ないか危惧しています。一時金についても 0.10 か月引上げとなりました。この 0.10 の一部を用いて人事評価の上位の成績区分

にかかる原資を確保というのを人事院が発表しましたが、一部の者しか恩恵を受けないところになっているのは不満があるのかなと思っていますので人事院にはその旨伝えています。上部団体を通じて意見を上げさせていただくのでなにかあれば遠慮なく中央のほうにお願いします。また、昨年の引下げ勧告のように年度を跨がないように早期に実施するように上部団体に結集して活動していきたいと思います。

(1) 第 63 回定期大会について

ア 第 62 期活動経過報告

変更箇所を含めた趣旨説明を行い、各項目について検討を行った。検討結果は以下のとおり。次回の中央執行委員会で提案することとした。

(変更箇所)

- ・Ⅲ生活向上をめざして 1. 賃金に対する取り組み（3段落目 7行目）

修正後) 令和 3 年度の引下げ相当分については来年 6 月

⇒大臣答弁の文章は漢数字だが、他と平仄を合わせるためにアラビア数字に変更

- ・Ⅷ国会対策について（表題）

修正後) Ⅷ国会対策

⇒他の表題は「～について」となっていないので平仄を合わせる

(検討にあたり出ていた話)

- ・各関のテレワークの状況について情報共有を行った。
- ・定年延長と年金の接続の問題について情報共有を行った。
- ・最近の昇任格の傾向について情報共有を行った。
- ・東京の成田寮については進展なし。東京地区本部としては、税関長交渉で建替えやリノベーションという言葉を使わず、満足する部屋を用意して欲しいと伝えている。

イ 第 63 期運動方針（案）

変更箇所を含めた趣旨説明を行い、各項目について検討を行った。検討結果は以下のとおり。次回の中央執行委員会で提案することとした。

(変更箇所)

- ・ワーク・ライフ・バランスの推進（運動方針に出てくる文書全て）

修正後) ワーク・ライフ・バランスの実現

⇒一般的には人事院も含めワーク・ライフ・バランスの推進と表記しているが、組合としては、ライフの実現に向けて取組んでいるという整理で実現を使用することとした。

- ・IV公平な処遇をめざして 4. 人事評価制度（1段落目4行目）

修正後) 向上するための周知などを
 ⇒現状、勉強会は行っていないため。今後行うことになれば、「など」の中に勉強会が含まれているという整理。
- ・IV公平な処遇をめざして 5. 配置転換（1段落目2行目）

修正後) 先行通知
 ⇒漢字誤り
- ・VI組織の発展に向けて 1. 活動の充実・強化（1マル目2行目）

修正後) 中央執行委員会を中心としたあらゆる機会において
 ⇒中央執行委員会が定期大会、中央委員会に次ぐ決定機関のため
- ・VI組織の発展に向けて 2. 人材育成（写真）

修正後) PSI-JC ユースネットワークセミナーの写真
 ⇒全大蔵の写真は古いので上記に差替えする
- ・VIII国会対策について（表題）

修正後) VIII国会対策
 ⇒他の表題は「～について」となっていないので平仄を合わせる
- ・IXより良い社会をめざして（1段落目3行目）

修正後) 「また、～」を削除
 ⇒現状、ボランティア活動には取組んでおらず、組合費を使ってボランティア活動をしても組合員の理解が得られない可能性もあるため

(検討にあたり出ていた話)

- ・II今期の重点取り組みの順番はない。どれも重要な課題として1番に考えて取組みを行うという整理。
- ・IV公平な処遇をめざして 2. 行 (一) 関係の処遇改善目標について、過去に実態と乖離しているのではという話が出たことがある。この表は、当局が出している基準で最短で上がっていった場合のものとなっており、この表を目標にやっていくという意味で載せているという整理。この目標達成のために級別定数の要求を税関労組が人事院に行っている。在級表を確認して表の見直しは後日行っておく。
- ・VI組織の発展に向けて 1. 活動の充実・強化の2マル目は、地本の内容になっており、中央の議案書に載せるものではないのではないか。何期の議案書から載せているのかを後日確認することとした。

ウ 大会各種決議（案）

- ・例年通り定期大会で決議して考査管理室に提出することとした。

エ 第63期予算（案）

- ・現在、62期の決算整理中であり、それを基に第63期の予算を策定するので予算（案）については後日提案することとした。

才 第 63 期具体的取組について（案）

- ・組織強化を急務として取り組んでいく（コロナを理由としない）。
- ・書記長会議を委員長・書記長会議に拡大（勉強会も入れ込む）。

カ 定期大会進行要領の確認

変更箇所を含めた説明を行い、内容の確認を行った。

- ・質問は、前回の大会の反省も踏まえ 30 分取ることとした。
- ・定期大会役割分担について、今期はハイブリッド開催を鑑み以下のとおりとした。

大会議長：東京

資格審査：各地区本部 1 名

議事運営：神戸

選挙管理：横浜

（4）その他

ア 総決起集会について

- ・中央において、例年使用している田町交通ビルの空き状況を確認して 11 月 2 日（水）、11 月 4 日（金）を仮押さえしている。開催日を検討した結果、例年 10 月下旬に行われている永年表彰の今年の予定や候補日前後に 150 周年記念のイベントの予定がないかを考查管理室に確認して判断することとした。
- ・動員数については、例年書記長会議で決定しているが、今回開催できなかつたことから、来週の中執で話すこととした。

以上